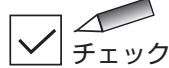




# 施工完了 チェックシート

確認日	年 月 日
確認者	

1□から7□を



◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

**1** クイックファスナーを正しく取り付けていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。

折り曲げる 軽く回る

※クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

**2** 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

**3** 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

※洗浄中、ノズルの左から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。【P.18】

**4** 電源が入っていますか

- 電源ランプは点灯していますか。

**5** 温水タンクに水が入っていますか

- 施工完了後、本体操作部のノズル掃除スイッチを押すと、ノズルが出て、タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。

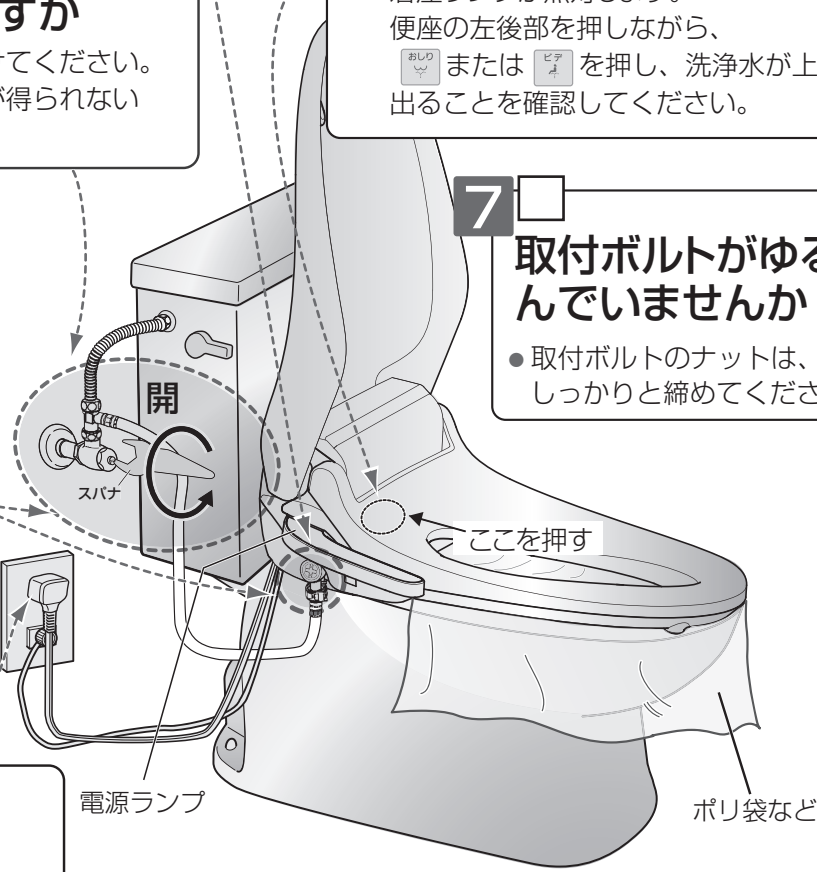
**6** 着座センサーは正常に働きますか

- ポリ袋など便器にはさむ。
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。着座ランプが点灯します。

便座の左後部を押しながら、**おしり** または **ヒザ** を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

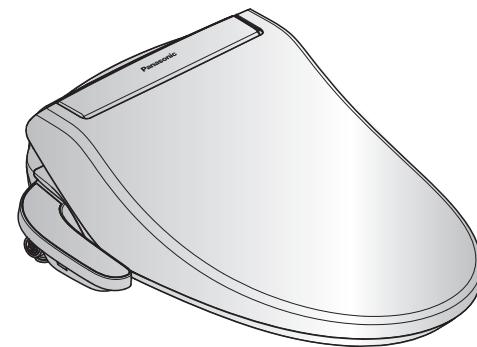
**7** 取付ボルトがゆるんでいませんか

- 取付ボルトのナットは、手でしっかりと締めてください。



配管方法などはイラストと異なる場合があります。

## ビューティ・トワレ



# Panasonic®

## 施工説明書

温水洗浄便座 家庭用

品番 DL-KMR20

		ページ		
1	●安全上のご注意	2	準備	
	●施工の前に	3		
	●各部の名前と同梱部品の確認	4		
2	●施工の流れ	6	施工	
	●止水栓を閉める	8		
	●分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける	9		
3	●初めて温水洗浄便座を取り付ける場合	10	取付	
	●既設の温水洗浄便座から取り替える場合			
	●本体を取り付ける			12
	●給水ホースを本体に取り付ける			14
4	●アース線の接続	15	試運転	
	●止水栓を開ける	15		
	●リモコンを取り付け、電源を入れる	16		
5	●試運転	18	確認	
	●こんなときは	19		
	●施工完了チェックシート	裏表紙		

施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」【P.2】は、施工前に必ずお読みください。

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
- 施工完了後、施工説明書はお客様にお渡しください。

パナソニックホームページで取り付け手順を動画で公開しています。

[panasonic.jp/toilet/](http://panasonic.jp/toilet/)

お願い ●試運転は、必ず行ってください。【P.18】

パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナー事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2022





ADL944PZYQCO  
CS1021-0



# 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

## 警告



### ■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)

### ■ 電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない

(傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因)

### ■ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない

(感電や発熱による火災の原因)

### ■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

(感電の原因)

### ■ 上水道以外には接続しない

(ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因)

### ■ 電池は誤った使い方をしない

(腐食や異物付着による水漏れの原因)

● ⊕と⊖を逆に入れない  
● 新・旧、電池や違う種類の電池を一緒に使わない  
● 被覆のはがれた電池は使わない  
(液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因)



### ■ D種接地工事を行う

(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)

### ■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因)

### ■ 施工は、施工説明書に従って確実に施工を行う

(説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因)

### ■ 施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する

(指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因)

### ■ 電気工事は、内線規程に従って施工する

(内線規程に従わないと、火災、感電の原因)

### ■ コンセントのアース端子にアース線を取り付ける

(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)

### ■ バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない

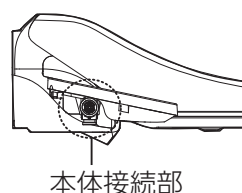
(感電や火災の原因)

## 注意



### ■ 本体接続部は、落下等でストレスをかけない

(ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因)



### ■ 水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う

(条例に基づいて行わないと、水漏れの原因)

### ■ 移動や施工時、本体を持つ

(便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因)

# 施工の前に

## お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工してください。
- **必ず同梱の給水ホース分岐金具付をご使用ください。**
- 既設の温水洗浄便座から取り替える場合は、既設のリモコンは必ず取り外してください。(干渉して誤動作します)

## お知らせ

- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出るがありますが、故障ではありません。
- 使用水圧範囲は49~735 kPa{0.5~7.5 kgf/cm<sup>2</sup>}です。
- 本体は2本の取付ボルトと、前の片側の脚ゴムの3点で支える構造です。便座が浮いた状態で、便座の強度に問題ありません。【P.18】
- 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。

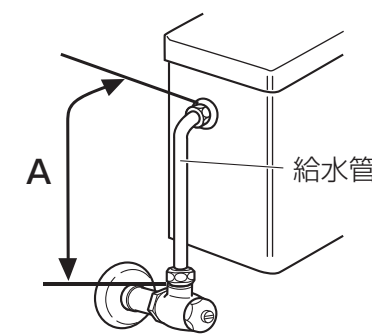
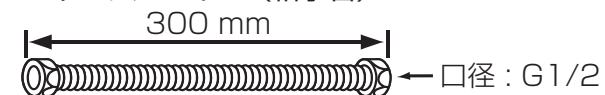
## 給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは300 mmです。

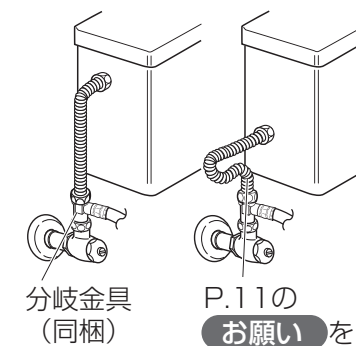
フレキシブルパイプは切断しないでください。

右図のA寸法が、約150~330 mmの場合は、取り付けできます。上記以外で②③の場合は、部材購入が必要です。

同梱のフレキシブルパイプ (給水管)



①A寸法が約150~330 mmの場合の施工例



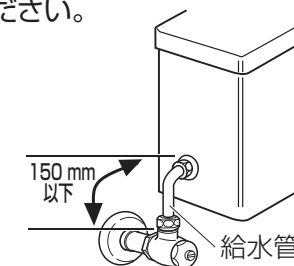
分岐金具 (同梱) P.11のお願いを参照してください。

	フレキシブルパイプの長さ	品番
別売品	250 mm	☆ AD-HS25B
	350 mm	☆ AD-HS35B
	400 mm	☆ AD-HS40B
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。

☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。

③給水管が短い場合

A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。また、給水管にストレーナー(フィルター)がある場合や外れない場合も同梱のフレキシブルパイプは使えません。この場合、P.9を参照してください。



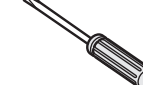
## リモコン取付位置の確認

リモコンを取り付ける位置は、P.16~17を参照してください。

## ご準備いただくもの



メジャー



プラスドライバー



モンキーレンチ

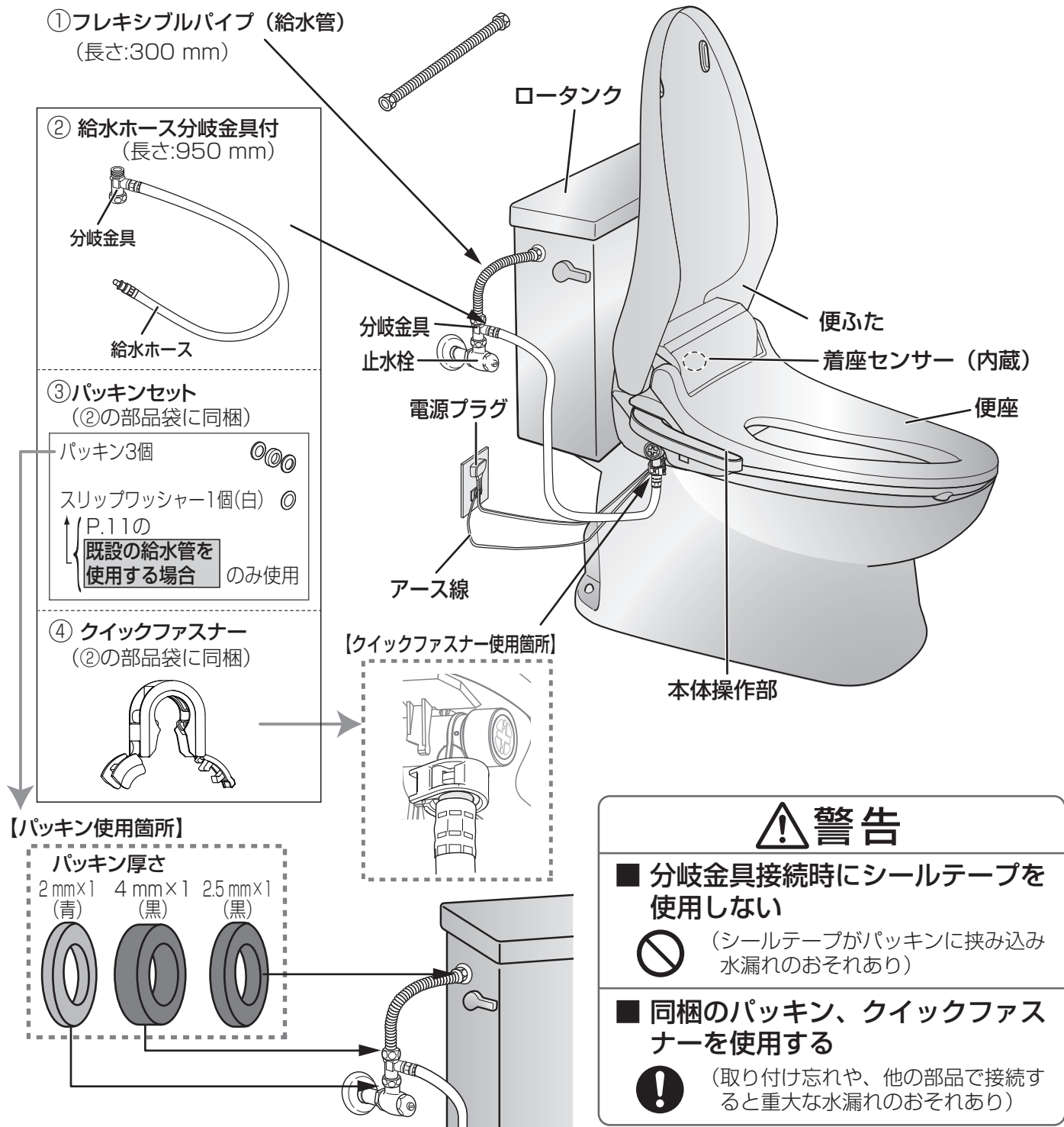


バケツ・ぞうきん

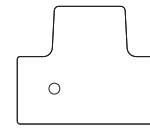
準備

# 各部の名前と同梱部品の確認

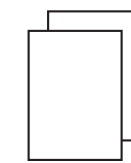
施工方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。



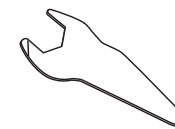
⑥ 型紙 [P.12]  
(本体取り付け位置決め用)



⑦ 説明書セット  
(取扱説明書・施工説明書)

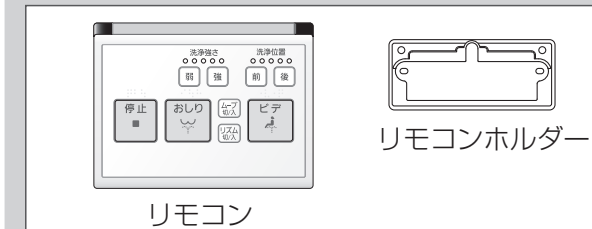


⑧ スパナ



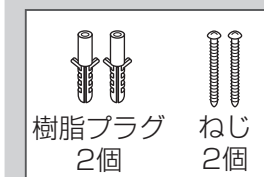
〈リモコン用〉

⑨ リモコンセット



リモコンホルダーはリモコンにセットされています。

⑩ 取付ねじセット



⑪ 乾電池セット



【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。  チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	フレキシブルパイプ(給水管)	1	<input type="checkbox"/>
②	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
③	パッキンセット (パッキン 薄い黒2.5mm厚さ×1 パッキン 青2mm厚さ×1 パッキン 厚い黒4mm厚さ×1 スリップワッシャー(白)×1)	1	<input type="checkbox"/> (②の部品袋に同梱)
④	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> (②の部品袋に同梱)
⑤	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑥	型紙	1	<input type="checkbox"/>
⑦	説明書セット	1	<input type="checkbox"/>
	取扱説明書		
	施工説明書		
⑧	スパナ	1	<input type="checkbox"/>

リモコン用

⑨	リモコンセット (リモコン リモコンホルダー)	1	<input type="checkbox"/>
⑩	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
⑪	乾電池セット(単3形マンガン乾電池)	1	<input type="checkbox"/>

【別売品】 (サービスルート扱い)

部品名	部品品番 ※	数量
別売分岐水栓・キャップセット 【P.9】 (分岐水栓 キャップカバー キャップA(大) パッキン大:黒2.5mm厚さ×1 説明書)	ADL531A-B4JS	1

※部品品番は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

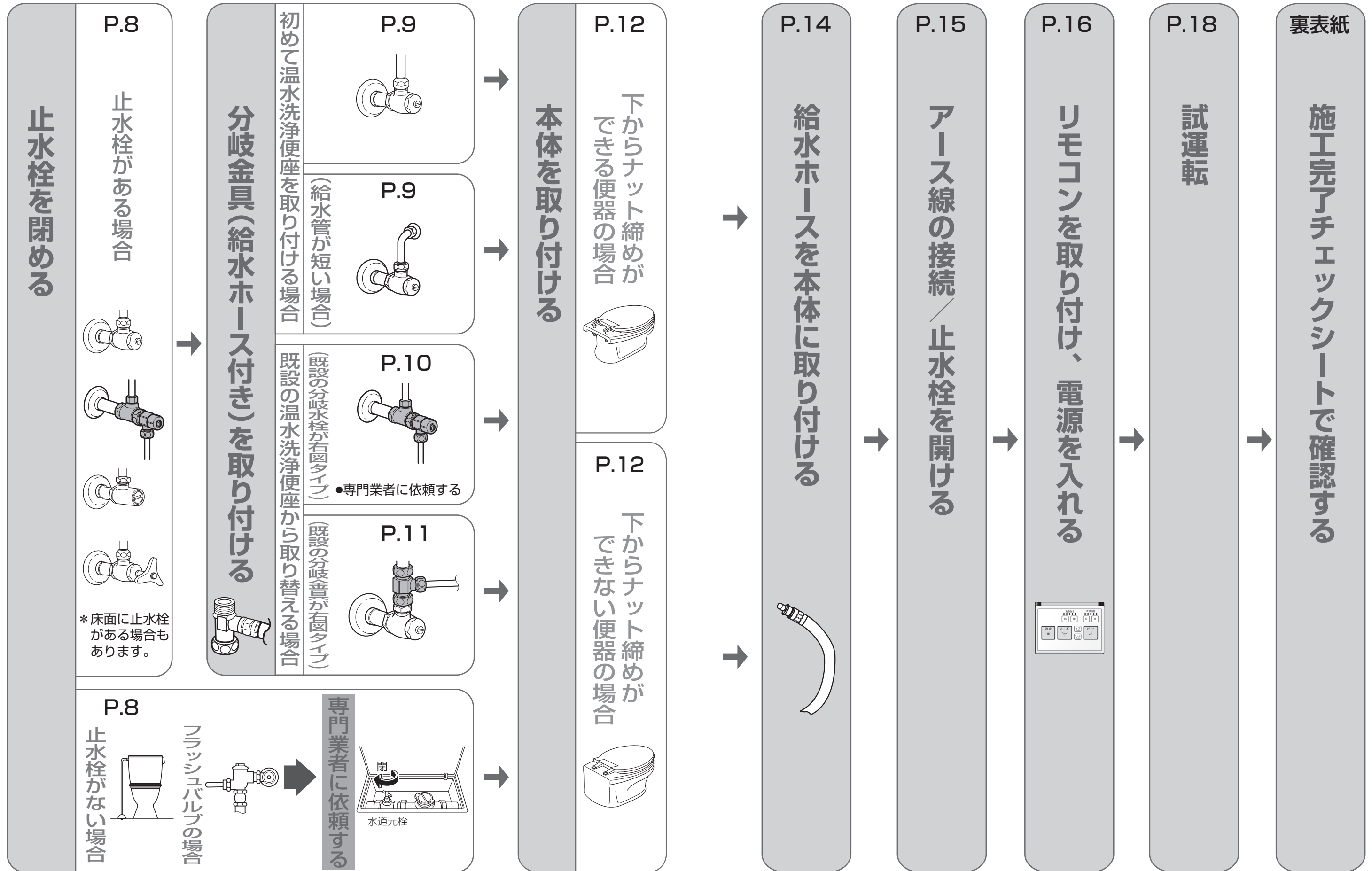
上記別売品は、配管の状態によって必要な場合があります。販売店でご購入ください。

お知らせ

- 操作音について
  - 「ピッ」 → 各スイッチを押したとき、
  - 「ピー」 → 停止スイッチを押したとき、各スイッチの「切」設定時
  - 「ピピピ」 → 操作を受け付けなかったとき (洗浄は着座しないと受け付けません)

# 施工の流れ

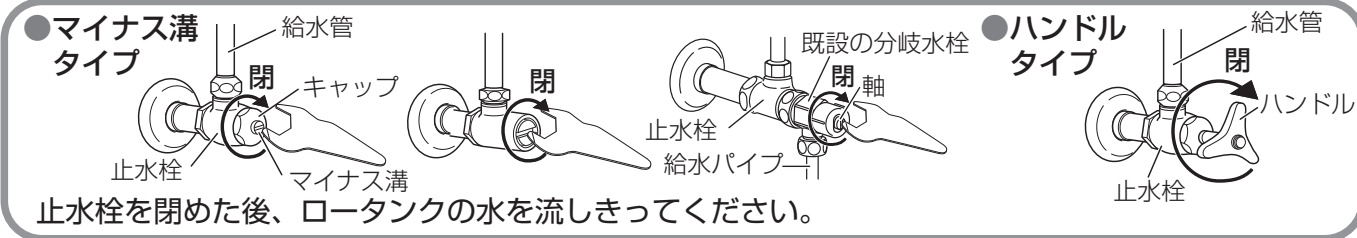
パナソニックホームページで  
取り付け手順を動画で公開しています。  
[panasonic.jp/toilet/](http://panasonic.jp/toilet/)



施工

# 止水栓を閉める

## ■止水栓がある場合



P.9~11

## 分岐金具を取り付ける

## ■止水栓がない場合 → 施工については専門業者に依頼してください

### 分岐金具を取り付ける

★は、同梱部品です。  
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。  
⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

〈分岐金具の締め付け方〉 → [P.9]

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

- 1 水道の元栓を閉める
- 2 市販の給水管を手配し、取り付ける
- 3 市販の給水管に分岐金具を取り付ける

分岐金具への差込代は約10mmを必ず確保する。

注意  
●取り付け順・方向を間違わない。

★分岐金具  
★パッキン(青2mm厚さ)  
約620mm

◎取り付け後、水道の元栓を開けてください。

---

### フラッシュバルブから本体へ給水する場合

フラッシュバルブがリモコン式や和風便器式など、下記別売品では対応できない場合があります。その場合は市販のアダプターなどの手配が必要です。

TOTO製の場合	LIXIL(INAX)製の場合
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水道の元栓を閉める</li> <li>2 別売品のフラッシュバルブ用アダプター(接続金具)を取り付ける                     <ul style="list-style-type: none"> <li>●右図のような取付口がある場合、アダプター(接続金具)は不要です。</li> <li>●取付口がない場合は、別売品のアダプター(接続金具)を取り付ける。</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水道の元栓を閉める</li> <li>2 ②部を外し、別売品のフラッシュバルブ用アダプター(接続金具)を取り付ける</li> </ol>
<p>☆別売品：フラッシュバルブ用アダプター(接続金具) フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプター(接続金具)が異なります。</p> <p>フラッシュバルブの止水栓に、分岐口がある場合 ☆AD-TH343R</p> <p>フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合(止水栓の取り替えが必要) 普通形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH502-1R 節水形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH347-1R</p>	<p>☆別売品：フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)セット</p> <p>化粧カバーなしの場合(ボルトむき出し) ☆AD-K012SWS 化粧カバーありの場合 ☆AD-K011SWS</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>3 フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)に分岐金具を取り付ける</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)に分岐金具を取り付ける                     <ul style="list-style-type: none"> <li>●別途、下記別売品の購入が必要です。</li> </ul> </li> </ol> <p>⊕別売品) キャップセット(品番：DL542A-Z6JSO)</p>

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

P.12

## 本体を取り付ける

## 初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

# 分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

★は、同梱部品です。 ⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

- 1 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管(給水ホースまたはフレキシブルパイプ)を外す
  - 〈タイプ1〉
  - 〈タイプ2〉
  - 〈タイプ3〉
- 2 分岐金具を止水栓に取り付ける
  - 〈分岐金具の締め付け方〉 → 下記参照
  - 〈タイプ1〉
  - 〈タイプ2〉
  - 〈タイプ3〉

●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

給水ホースまたはフレキシブルパイプ

●タイプ2、3の場合は同梱のフレキシブルパイプは使用しません。既設の給水ホース(フレキシブルパイプ)を使用してください。ただし、既設のパッキンは使用せず、同梱のパッキンを使用してください。

〈タイプ1の場合〉

P.11  
2 給水管の取り付け

〈タイプ2、3の場合〉

P.12  
本体を取り付ける

### 〈分岐金具の締め付け方〉

回り止めのために「プライヤー・モンキーレンチ等」の工具でこの部分を固定する

時計方向に手で仮締めをし、同梱のスプナで締め付ける

分岐金具

締め付トルク：10~15 N・m{100~150 kgf・cm}  
(指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない)

〈タイプ1〉において給水管が外れない、給水管が短い、給水管にストレーナー(フィルター)があるなど、本体同梱の分岐金具とフレキシブルパイプが接続できない場合

- 止水栓が内ねじ式の場合は下記別売品では取り付けができないため、専門業者に依頼してください。

内ねじ式止水栓

〈最小曲げ形状例〉  
給水管、給水口、止水栓  
約R30mm、約130mm、約40mm、約20mm

別売品の分岐水栓を販売店で購入し、接続してください。

⊕別売品) 別売分岐水栓・キャップセット(品番：ADL531A-B4JS)

参考図(接続後)

本体同梱のフレキシブルパイプは使用しません

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

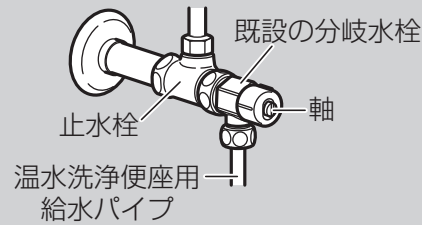
P.12  
本体を取り付ける

施工

# 分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける

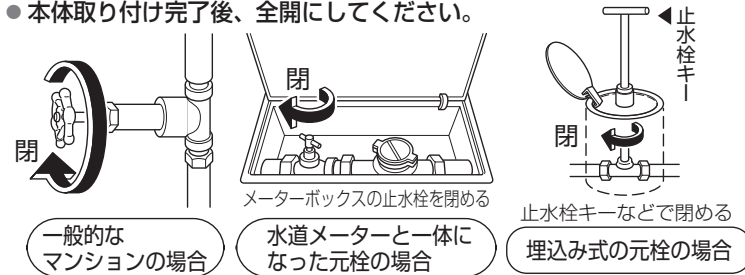
●分岐水栓がタイプ(A)の場合は、止水栓を元に戻す必要があります。専門業者に依頼してください。

## 既設の分岐水栓が 下図のタイプ(A)



### 【準備】水道の元栓を閉める

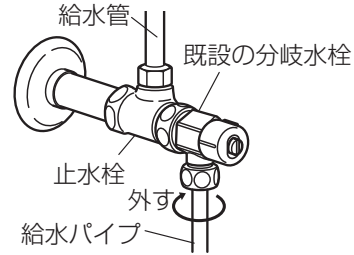
- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
- 本体取り付け完了後、全開にしてください。



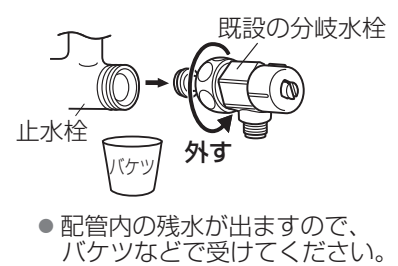
★は、同梱部品です。  
㊦は、サービスルート扱い（別売品）です。

## 止水栓を元に戻す場合

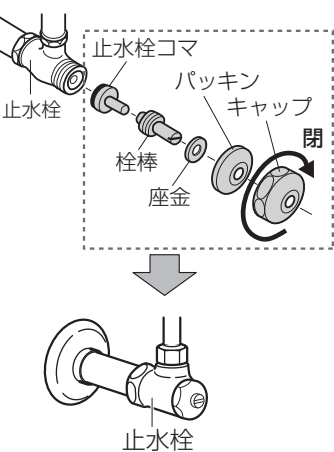
### 1 給水パイプを外す



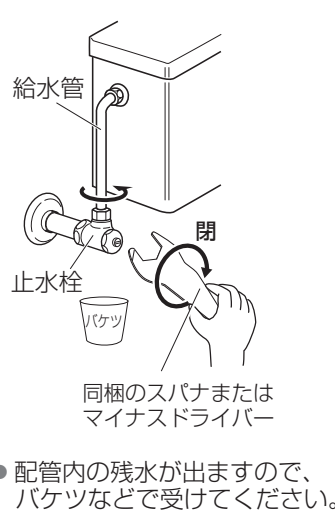
### 2 既設の分岐水栓を止水栓から外す



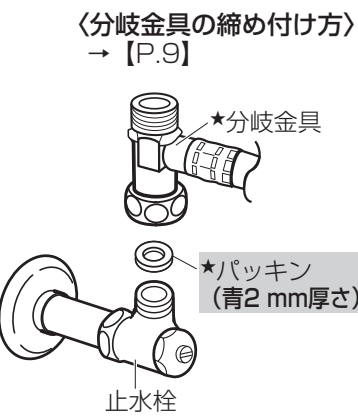
### 3 止水栓を元にもどす



### 4 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



### 5 分岐金具を止水栓に、取り付ける



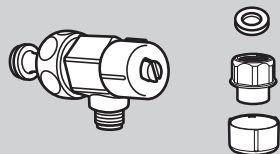
## 止水栓を元に戻せない場合

- 止水栓が内ねじ式の場合は下記別売品では取り付けができないため、専門業者に依頼してください。

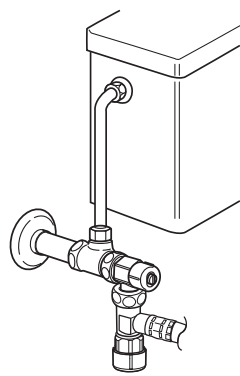


別売品の分岐水栓を販売店で  
購入し、接続してください。

〈㊦別売品〉  
別売分岐水栓・キャップセット  
(品番：ADL531A-B4JS)

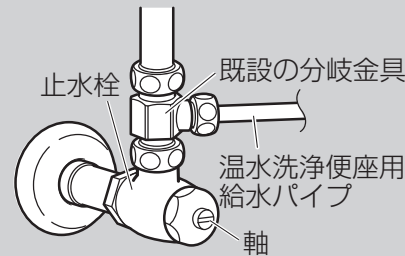


参考図(接続後)

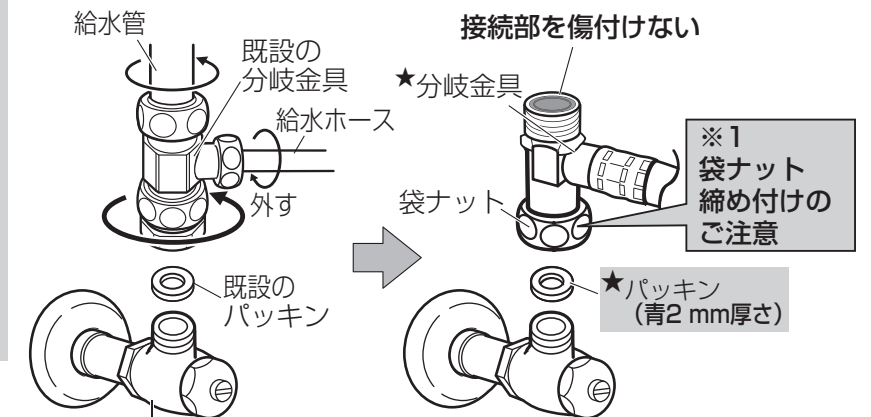


詳しい取り付け方法は、別売品の  
説明書を参照してください

## 既設の分岐金具が 下図のタイプ(B)



## 1 給水管を外してから、同梱の分岐金具に交換する (分岐金具の締め付け方) → [P.9]



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

※1 袋ナット締め付けのご注意  
●水漏れしないように袋ナットを最後まで確実に締め付けてください。また、強く締め付けすぎると、パッキンが切れ、水漏れることがあります。

## 2 給水管の取り付け

- 既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。

### 同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。

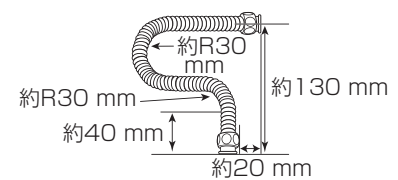


### お願い

#### フレキシブルパイプは

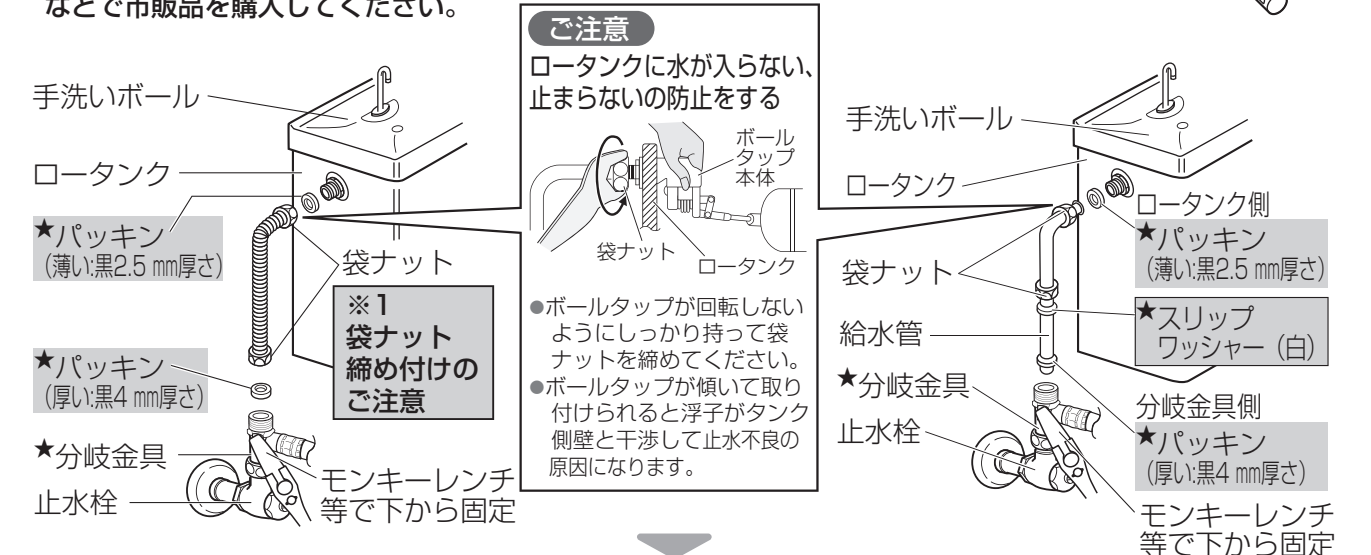
- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない(折れることがあります)
- 切断しない
- 長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。

〈最小曲げ形状例〉



### 既設の給水管を使用する場合 給水管にストレーナー(フィルター)がある場合

- 給水管が短い場合は、専門業者にお問い合わせください。(市販の給水管等の購入が必要です)
- 分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。(フレア加工している場合は、切断長さに注意)
- 分岐金具への差込代は約10mmを必ず確保する。



### ご注意

ロータンクに水が入らない、止まらないの防止をする

- ボールタップが回転しないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると浮子がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

# 本体を取り付ける

## 下からナット締めができる便器の場合

### 【準備】既設便座を取り外す

1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。

#### (ナットがさびてゆるまないときは)

- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金のごでボルトを切断する。



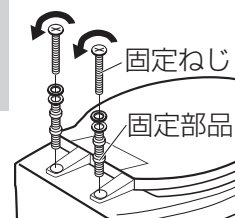
⊕は、サービスルート扱い（別売品）です。

## 下からナット締めができない便器の場合

下記別売品が必要ですので、ご購入ください。

⊕別売品  
上面施工ボルトセット  
(品番: ADL55DWZGQC0)

1. 固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。

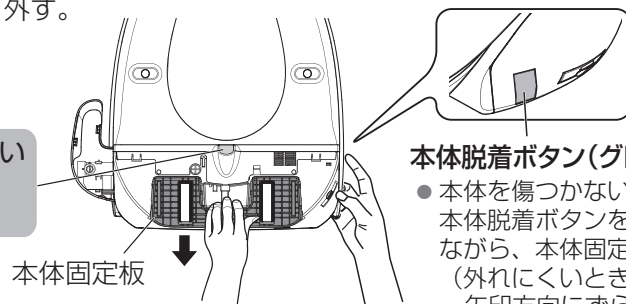


## 1 本体固定板を取り外す（共通）

本体裏面より本体固定板を取り外す。

裏向けに寝かせる

ノズル収納部は絶対に押さないでください。  
(ノズルが出なくなる原因)

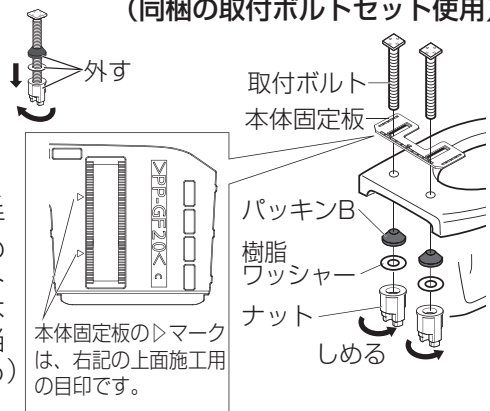


### 本体脱着ボタン(グレー色)

- 本体を傷つけないよう裏向けに寝かせて本体脱着ボタンを奥までしっかり押し込みながら、本体固定板を矢印方向に引き出す。(外れにくいときは、左、右、中央の順に矢印方向にずらしながら、取り外す)

## 2 型紙を使用し、本体固定板を取り付ける

1. 取り付けボルトより各部品を取り外す。



2. 本体固定板が動く程度にナットを手で回し、軽く締める。(取付ボルトが長すぎるときは金のごなどで適当な長さに切断する)

本体固定板の△マークは、右記の上面施工用の目印です。

### 3. 型紙を使用し、本体固定板の取り付け位置を決める。(共通)

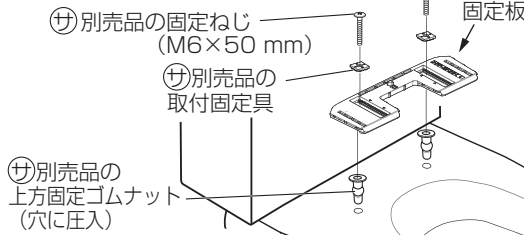
(詳しくは同梱の型紙参照)

- 型紙の穴が便器でふさがると、本体の逃がし水が便器内に流れず便器外に水漏れする原因となります。本体取り付け位置を変更した場合も型紙を使用して再確認してください。

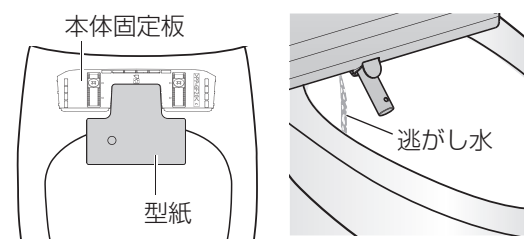
4. 型紙を外す。(共通)

### (別売の上面施工ボルトセット使用)

1. 別売の上面施工ボルトセットで本体固定板を便器に仮締めする。

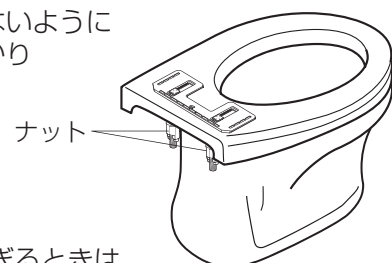


詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください



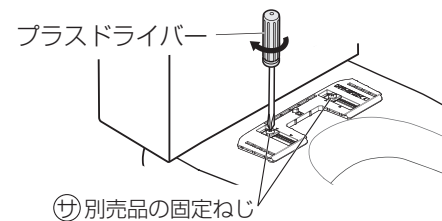
## 3 本締めする

- 本体固定板が動かないようにナットを手でしっかり締め付ける。



(取付ボルトが長すぎるときは金のごなどで適当な長さに切断する)

- 別売の固定ねじをプラスドライバーで締め付ける。

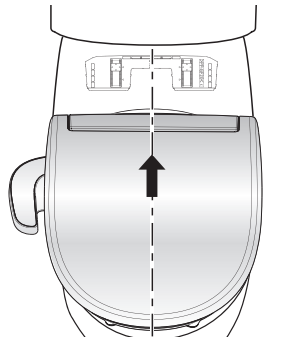


## 4 本体を取り付ける（共通）

1. 本体固定板の中心と本体の中心を合わせる。
2. 本体後部を少し浮かし、便器面から本体をすべらせ「カチッ」と音がするまで押し込む。

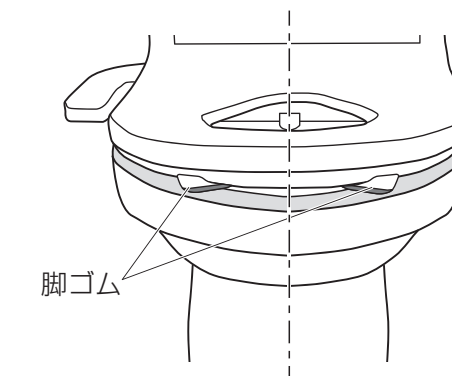
- 電源コードをはさみ込まないようにしてください。

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

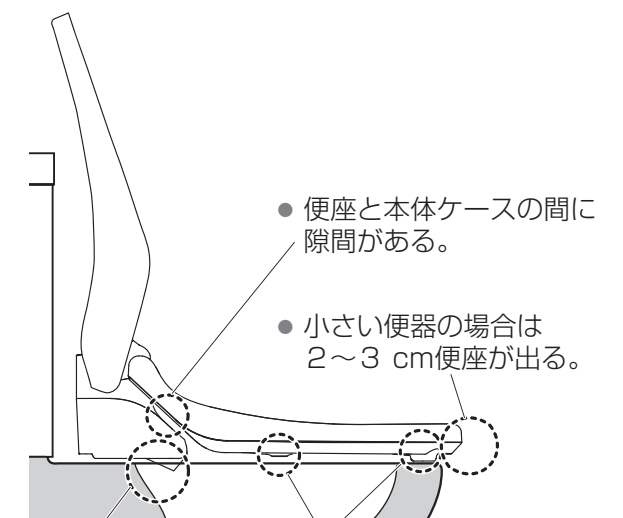


本体を便器に施工後、本体を軽く手前に引っ張ってしっかり固定されていることを確認してください。

お願い 正しく取り付けないと着座検知しません。(洗浄できません)



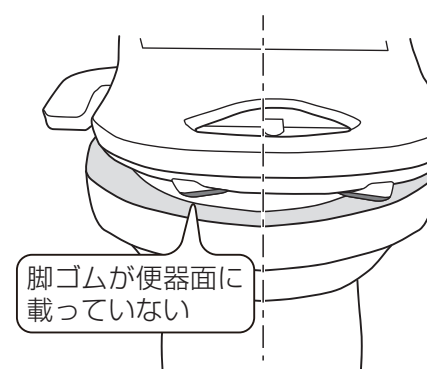
- 脚ゴムが便器面と左右均等にある。
- 脚ゴムが便器面に載っている。



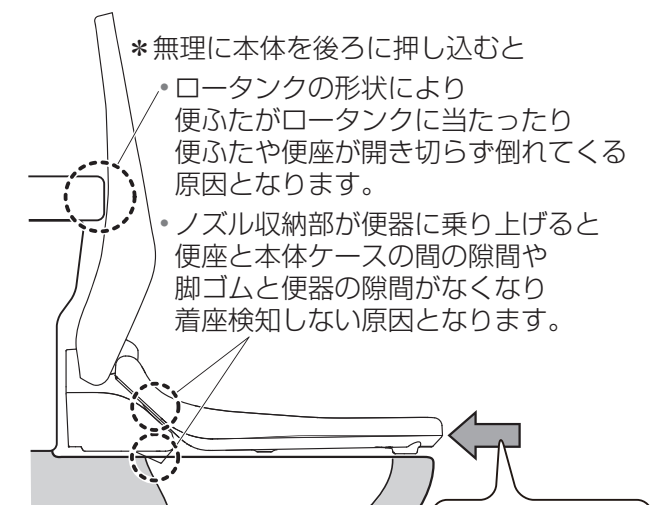
- 便座と本体ケースの間に隙間がある。
- 小さい便器の場合は2~3 cm便座が出る。
- 本体裏面のノズル収納部が便器に乗り上げていない。
- 便座に向かって左側の前と後の脚は便器と接触しない。後ろ脚は便器と3 mm以上の隙間がある。



\*脚ゴムが便器面に載っていないと着座検知しない原因となります。



脚ゴムが便器面に載っていない



\*無理に本体を後ろに押し込むと

●ロータンクの形状により便ふたがロータンクに当たったり便ふたや便座が開き切らず倒れてくる原因となります。

●ノズル収納部が便器に乗り上げると便座と本体ケースの間の隙間や脚ゴムと便器の隙間がなくなり着座検知しない原因となります。

無理に押し込む

取付

# 給水ホースを本体に取り付ける

**重要：クイックファスナーを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因**

**1 本体への接続**（作業がやりにくい場合は、本体を手前に引き出す【P.12】）

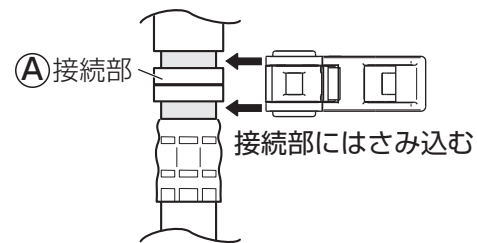
1. 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。

**ご注意** 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

**お願い** 既設の給水ホースは使用しないでください。

（劣化により水漏れの原因）

2. クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。（「パチッ」と音がするまで差し込む）

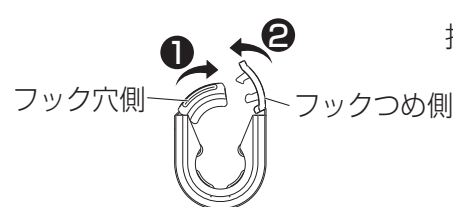


3. フックを確実に固定する。

① フック穴側を折り曲げる

② フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する

（「パチッ」と音がするまで固定する）



4. 給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。

\* 軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けられていません。

**お知らせ**

給水ホースが短い場合は、別売品をご購入ください。

1300 mm用 ☆AD-DL531-13  
2500 mm用 ☆AD-DL531-25

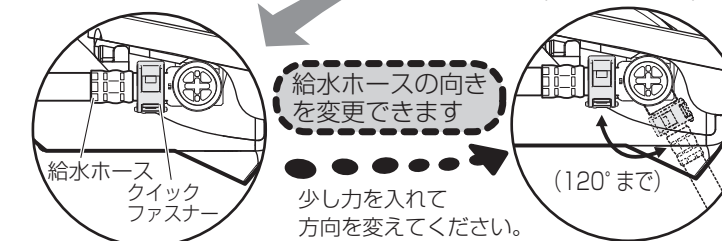
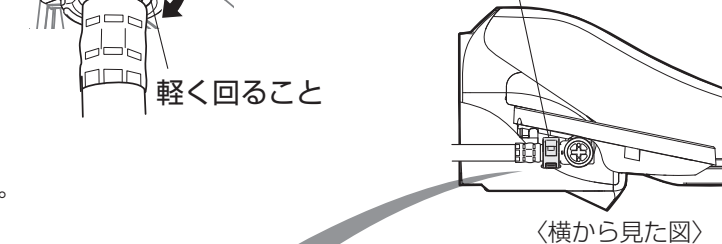
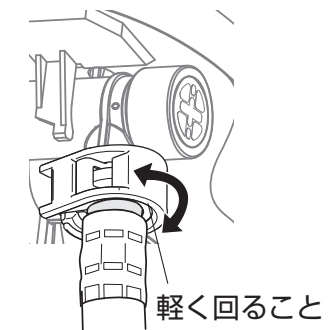
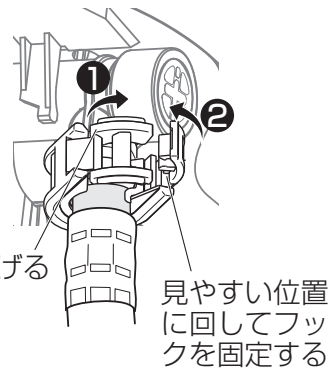
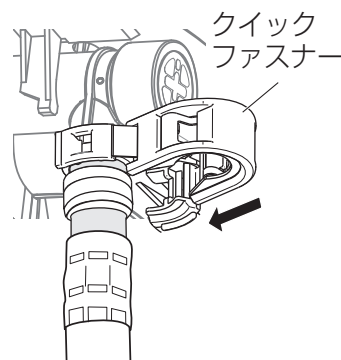
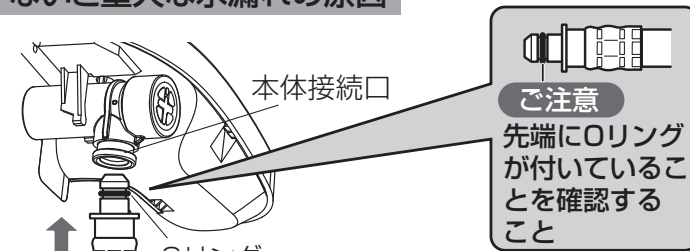
☆は、システム部材開発センター扱い（別売品）です。

別売品は、給水ホースと分岐金具が別々になっています。分岐金具側もクイックファスナーで接続するようになっています。

**2 必ず確認**

● クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。

● 給水ホースを引っ張って、本体接続口から抜けないことを確認してください。



**お願い**

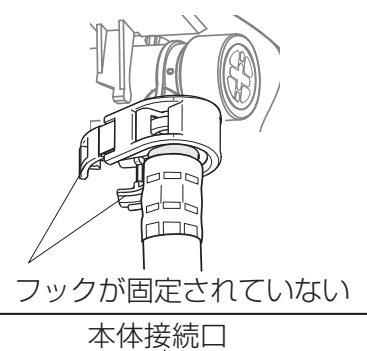
● フックが閉じないときは、①接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

**ご注意**

● 給水ホースは切断しない  
● 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない  
● 本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む

**悪い接続例**

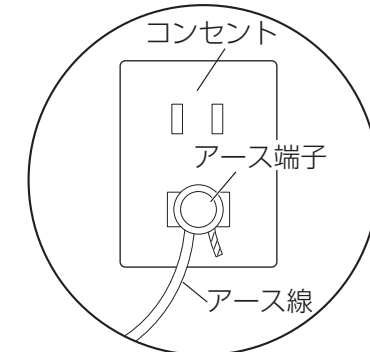
\* フックが確実に固定されていないとクイックファスナーが外れ、重大な水漏れの原因となります。



# アース線の接続

**コンセントにあるアース端子に、必ず接続してください**

（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）

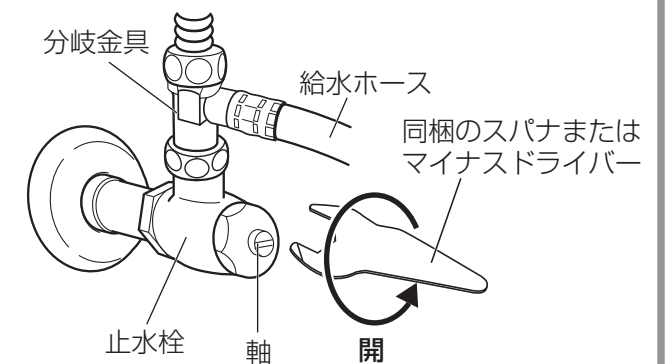


上図はアース付きコンセントの一例です。

# 止水栓を開ける

各接続部がきちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は十分に開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。



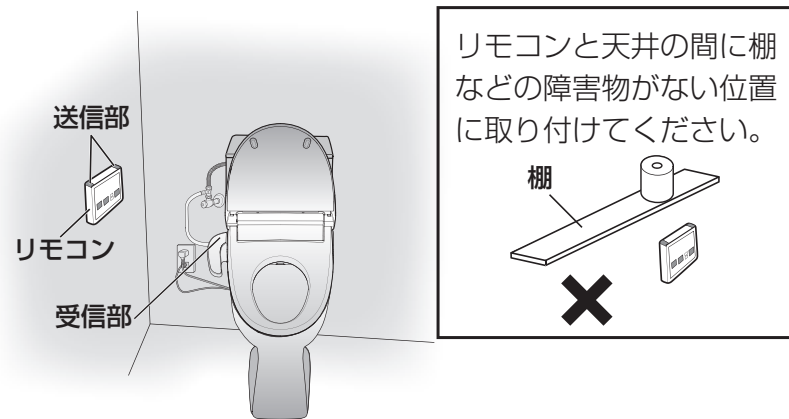
十分に開いていないと低流量異常（温水ランプが全点滅）が発生する場合があります。



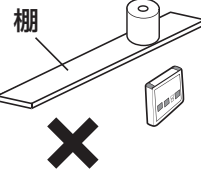
取付

# リモコンを取り付け、電源を入れる

- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。

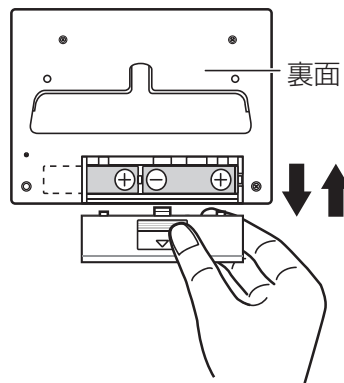


リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。



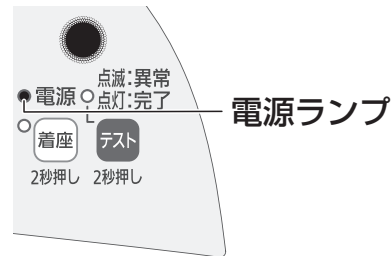
## ① リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる

- 乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【P.2】を必ずお守りください。



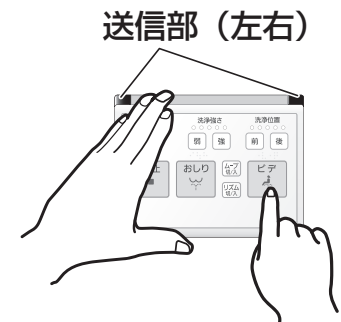
## ② 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

- ①電源プラグを差し込む
  - 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する。



- ②リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデスイッチを押す
  - 本体の電源ランプが1回点滅、着座ランプが3回点滅と同時に本体から「ピピピ」と音がします。(ただし、着座センサーが検知している場合は「ピッ」と音がします)

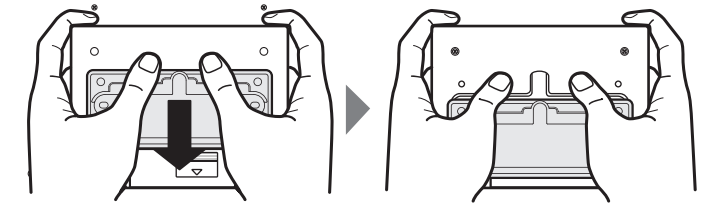
↓  
送受信可能な位置です。



- ◆電源ランプが1回点滅、着座ランプが3回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

## ③ リモコン (リモコンホルダー) を壁面に取り付ける

- ①リモコンからリモコンホルダーを外す
  - リモコンホルダー上を指で押さえながら方向にずらして外す。

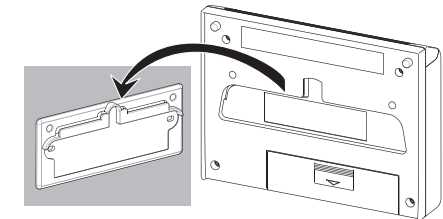


### ② リモコンホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ねじ止めできない場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種合板</li> <li>●ビニールクロスなど</li> </ul> <p>①ねじ2本で壁面に取り付ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タイル</li> <li>●コンクリート</li> <li>●石こうボードなど 「注意」※1</li> </ul> <p>①壁面に下穴をあけ、樹脂プラグを差し込む (直径 5.8 mm 深さ 35 mm)</p> <p>②ねじ2本で壁面に取り付ける</p>	<p>別売品のビューティ・トワレ用リモコンプレートでペーパーホルダーに取り付けできます。販売店でご購入してください。</p> <p>別売品ビューティ・トワレ用リモコンプレート 品番：AD-DLRCP1-F</p> <p>リモコンホルダー</p> <p>ねじ</p> <p>詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください</p> <p>2連式のペーパーホルダーには取り付けできません。</p>

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

### ③ リモコン裏面の溝を合わせて上から差し込む



- ④リモコンが取り外せることを確認する (電池交換が必要なため)

# 試運転

**1 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する**  
(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)  
**給水接続部から水漏れがないことを確認する**

**2 本体梱包用のポリ袋などはさむ**  
(便座と便器の間)

**3 電源プラグが差し込まれていることを確認する**

**4 漏電テストスイッチを2秒以上押す**  
漏電検知機能が作動し、電源が切れます。  
(漏電テストランプ(赤)点灯、電源ランプ(緑)消灯)

**5 電源プラグを抜く**  
●漏電テストランプ(赤)が消灯することを確認する。

**6 電源プラグを差し込む**

- 電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に変わります。
- 温水温度設定が「切」になっていることを確認する。



**7 ノズル掃除**を押す

- 本体の温水タンクに注水を始めます。ノズルが出て、約1分後お手入れ状態になり、水が下向きに出ます。水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

## 温水タンク内の空焚きについて

- 試運転の手順7の時点で、温水温度ランプの「高」「中」「低」が全点滅している場合は、温水タンク内の空焚き表示です。**故障ではありません。**

〈以下の処置をする〉

- 水道の元栓、止水栓を開き、手順7から試運転を行う。(温水温度ランプは消灯します)

**8 リモコンの「停止」を押す**

- ノズルが元に戻ります。

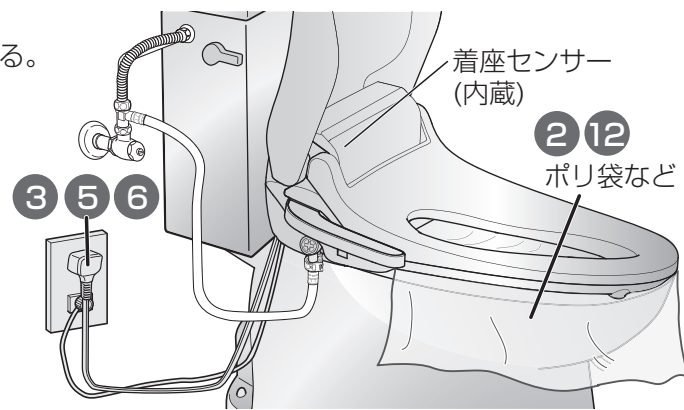
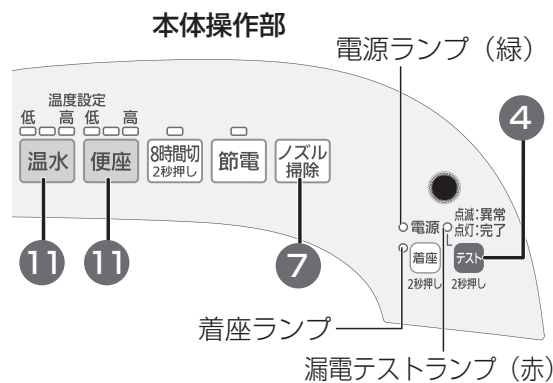
**9 便座の左後部を押しながら、(着座ランプ点灯)リモコンの「おしり」または「ビデ」を押す**

- 脱臭が始まります。
- ノズルを洗浄し、約5~8秒後に洗浄水が出ます。(着座検知していないと、洗浄水が出ません)

便座の左後部を押さずに「おしり」または「ビデ」を押した場合  
→着座検知しないと「ピピピ」と音がし、動作しません。  
再度、手順9から試運転を行ってください。

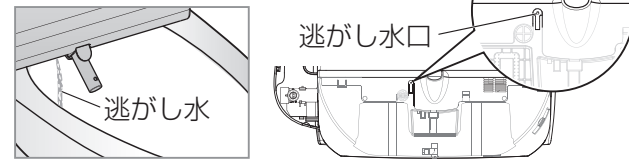
**10 リモコンの「停止」を押す**

- ノズルが戻ってから、ノズルを洗浄する水が出ます。
- 便座の左後部から手を離すと、約1分後に脱臭が停止します。



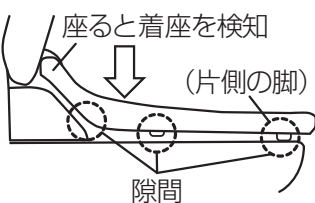
## 水圧調整の逃がし水について

- 逃がし水口(ノズルの左)から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。



## 着座検知について

- 便座の後ろ脚と前の片側の脚および便座と本体ケースの間に隙間がある状態が正常です。この隙間がないと座ったときに着座検知しません。【P.13】



**11 便座 と 温水 のスイッチで温度設定し、通電約5~12分後に便座と洗浄水のあたたかさを確認する**

- ポリ袋の上から手をあて、温水が出ることを確認してください。

**12 ポリ袋を外す**

## お知らせ

- 漏電テストランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。
- 便ふたや便座の上から押さえると、着座ランプが点灯し、脱臭が始まります。また、その状態で洗浄スイッチを押した場合、洗浄水が出ます。

# こんなときは

現象	考えられる原因と処置方法	参照ページ
着座検知しない	便座の脚ゴムが便器面に載っていない	本体を正しく取り付ける 13
本体操作部の温水温度ランプが全点滅する	●水道の元栓、止水栓が開になっていない ●止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ	水道の元栓、止水栓を開にし、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う 15 18
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道水フィルターが詰まっている	掃除する 取扱説明書
ロータンクの水が入らない、止まらない	水道の元栓が全開になっていない 止水栓が開になっていない ロータンクに給水中	水道の元栓を全開にする 10 止水栓を開にする 15 水が貯まるのを待つ -
手洗いボールから水はねする	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す 11
接続部から水漏れする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る 15
電源が入らない	給水ホース先端のOリングにゴミが付着	Oリングのゴミを取り除く 14
ノズル付近から水が出ている	ナットの締め付け力が不足 締め過ぎによるパッキンなどのずれ	増し締めする 9 ずれをなくす 11
電源ランプが点滅する	クイックファスナーの差し込み不足やずれ	確実に固定する 14
電源ランプが点滅する	漏電テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動(漏電テストランプが点灯)	電源プラグを抜き、漏電テストランプが消灯後、電源プラグを差し込む 18
電源ランプが点滅する	凍結するおそれのある場合や長期間(1週間以上)使用しない場合は、水抜きをしてください(取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照)	18
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する	取扱説明書「保証とアフターサービス」の修理ご相談窓口にご連絡ください	

## 施工後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間(1週間以上)使用しない場合は、水抜きをしてください(取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照)